

大阪市をなくすな



署名8万5千人分に

「都」構想反対 大阪市民会議が会見

記者会見する大阪市民会議のメンバー＝27日、大阪市

大阪市を解体する「都」構想に反対の「大阪市民会議」（市民団体などで構成）は27日、同市役所で記者会見し、市の存続を求める署名が8万5426人分寄せられたと発表しました。昨年10月から今月にかけて集めたもの。

会見では、池田裕子事務局長、中野雅司共同代表と市民3人が「このまま大阪市を育てていきたい」と市存続の思いを語りました。

池田氏は、第8回大都市制度（特別区設置）協議会（法定協）で反対派委員を排除す

るかのような松井一郎府知事の発言や、「総合区」の議論は「特別区」実現のための「カムフラージュ」とする

吉村洋文市長の発言を批判。「市長が自ら市をつぶすなんてありえない話だ」と憤りました。

中野氏は、前回の住民投票で「市民間の亀裂が大きくなった」と強調。今回の「都」構想については「ニア・イズ・ベター」（往々に近い行政）というが、4区構想は人口（1区あたり60万から75万人）が大きくなり過ぎ破たんしている」と指摘しました。

会見後、維新を除く市議会の議長や各党派幹事長に市の存続を求める陳情書を手渡ししました。日本共産党は山中智子市議団幹事長が受け取りました。維新は受け取りを拒否しました。